

【経営体A】

「複数品目・作型の栽培」「単棟ハウス栽培による商品価値の向上」⇒安定した売り上げを実現

- ◇集約された大区画ほ場への入植により、移動時間が少ない**効率的な大規模営農を展開**
- ◇**複数品目・作型を作付け、多様な出荷先を確保**することで**利益を確保**
- ◇単棟ハウスの導入により**品質が均一**になることで**出荷ロットが確保**され、**商品価値が向上**
- ◇**連作障害回避**のため**経営規模を拡大**するとともに、**移植機を導入**し作業を**省力化**

特徴的な取組

内容

複数品目・作型の作付け

リスク分散による経営の安定

ブロッコリーやたまねぎ、レタス等の複数品目・作型を組み合わせることで作付けるとともに、多様な出荷先を確保することで、価格の変動によるリスクを分散し経営を安定。



複数年目の作付け状況（左：ブロッコリー、右：スイートコーン）

単棟ハウスの導入

商品価値の向上と作業環境の改善

露地栽培と出荷時期をずらした冬場の収穫が可能になるだけでなく、品質が均一になることで計画的な出荷ロットが確保され、商品価値が向上。また、天候に左右されない作業環境を確保。



単棟ハウスでのレタス作付け状況

単棟ハウス設置状況

干拓地内経営面積の推移



経営規模の拡大

連作障害回避と省力化

栽培品目の連作障害の回避を目的（ほ場のローテーション）として、入植6年目、13年目に経営規模を拡大。規模拡大に伴い、ブロッコリー移植機を導入し、省力化を図りブロッコリーの作付けを拡大。

干拓地の魅力

- ほ場が広いので、移動時間が少なく作業効率がよいだけでなく、農作業を機械化しやすい。
- 栽培に必要な用水を適時適量得られるので、用水管理が容易。

経営の概要（令和6年10月時点）

- 経営面積 24.6ha（うち干拓地内：16.2ha）
- 基幹作物（干拓地内／令和5年度）
露地：ブロッコリー、たまねぎ、ばれいしょ等
単棟ハウス：レタス、かぼちゃ
- 雇用者数：9名（通年、短期、技能実習生含む）



ブロッコリー収穫風景



収穫されたブロッコリー